本蔵院からの季節のおたより

数々修習

「さくさくしゅうしゅう」

vol.16

初冬号

平成三十年十一月一日発行

- 住職からのご挨拶
- 「除夜の鐘」のお知らせ
- 加藤神社様との稲刈り
- 忘年会を開催します
- 星祭のご案内

数々修習とは？

道を求める事、つまり見道・求道を繰り返し繰り返し反復するという意味です。私住職もこのお便りと一緒に熟していければと思っております。

発行元　本蔵院「数々修習」編集室

〒860-0811 熊本市中央区本荘6-15-50 TEL096-364-4848　FAX 096-364-9570

移り変わりの激しい時代だからこそ
私たちとともにある「仏教」の存在を

第二十世住職　藏本崇正

早いもので今年も残すところ二月となりました。檀信徒の皆様におかれましては、今年一年どのような年でございましたでしょうか。

近年、時代の移り変わりは昔よりもずっと早くなりました。情報の習得の量、速さが今までとははるかに変わっており、一説には江戸時代を生きた人々の一年分の情報量を一日で取得するとも言われております。

それはつまり、脳への負担が先人と現代では格段に変わってきているともいえるのです。心身に支障をきたす方々が増え、自殺に追い込まれる方々が後を絶たないのはそれも理由の一つかもしれません。

世界の合理主義による便利化は止められません。それは仕方のないことですし、それによって人類もある意味進歩してきたという一面もあります。電話ひとつとっても、思い立ったらすぐに手元のスマートフォンで電話をかけられる今の時代。電話交換手を通さなければ話ができなかった時代に戻ることはありません。私たちは、時代の移りかわりの中、恩恵を受けながら歩んでいることも現実です。

しかし、そういう世界に接しながらも離れず共に歩む世界が仏教なのです。仏教には、普遍の真理、人間の誠の幸福がすでに先人達によって説かれ残っているわけであります。

仏教は世間と乖離して存在するのではなく、いつもどんな時もあなたと共にあるのです。我が宗祖、弘法大師・空海も高野山で入定される時、「虚空尽き、衆生尽き、涅槃尽きなば、我が願もつきなむ」と述べられました。つまり、すべての生きとし生けるものが仏になるまでは私は仏にならない、という願いを立てご入定されます。だから、同行二人という信仰があるのですが、いつも一緒に歩んでくださるという真理としての身を得られたわけでございます。

これからの時代、我々が想像もできない世界がやってきます。しかし、そうなればそうなるほど仏教が必要とされてくるに違いありません。心穏やかに、そして心してこの時代を力強く歩んで参りたいものです。

平成三十年十一月吉日

第二十世住職　藏本崇正　拝

合掌

※写真は、修行時代の私です。痩せていますね。

荘厳な気持ちで、新たな年を迎える
大晦日、今年も菩提樹苑で「除夜の鐘」を撞きませんか

昨年の大晦日から一月一日にかけての「除夜の鐘」。初めての試みでしたが、三百人を超える方にご参拝いただきました。島崎・菩提樹苑の高台に位置する鐘が、厳かに熊本市内へと音を響かせる様子に、気持ちも清められたという方も多かったのではないかと思います。

そもそも「除夜の鐘」はご先祖様が戻ってこられる新年に向けて、鐘の音で旧年の穢れを清めるという意味があります。あの荘厳な鐘の響きは、私たちの今年の煩悩や悩み、苦しみを浄化してくれるものです。また、「除夜」は大晦日のことを指し、「夜を除く（＝ない）」という文字通り、「夜通し」鐘を鳴らし、新年を待ったとされています。除夜の鐘は、初詣など神道の要素が強くなっているお正月前後の儀式のうち、唯一仏教的な要素が残っているものでもあります。

今年も昨年同様、「除夜の鐘」を執り行います。檀信徒様に限らず、どなたでも撞くことができます。また、ご希望の方には住職がご祈念します「添え護摩木（願い事を書く木）」を授与し、新年の元朝護摩を修します（大人は祈願料千円、中学生以下は全員無料）。さらに名物の温かい五智汁のお接待や、誰でも引ける「おみくじ」もございます。ご近所様お誘い合わせの上、どうぞ暖かくしてご参拝ください。事前のお申込み等は不要です。

ちなみに、今年も昨年制作しました「除夜の鐘」テレビCMも、十二月二十六日からから三十一日まで、テレビ熊本とくまもと県民テレビで流す予定です。かわいいモデルにどうぞご注目を！

CMの1シーンその1。この横顔は、誰かお分かりになりますか？

CMの1シーンその2。12月末に放送予定です

昨年の除夜の鐘

新年　元朝護摩祈願の様子

参拝者全員が順に鐘を撞きました

除夜の鐘

日時
平成三十年十二月三十一日(月)～
平成三十一年一月一日(火・祝)
- **二十三時～　受付開始**
  受付を済ませた方から、順に列にお並びください
- **二十三時十五分～　梵鐘前ご法楽**
  旧年のお清め
- **二十三時半～　新年 元朝護摩祈願**
  梵鐘横で護摩を焚き、新年の祈願を行います
- **二十四時～　撞き始め**
  新年のあいさつ
  第一打は住職。第二打以降をご参拝の方に順に撞いていただきます
- **二十五時　元朝護摩祈願終了**

場所
公園墓地菩提樹苑 鐘楼堂広場
（熊本市西区島崎五・九二七・六）
TEL 096-356-1962

料金
除夜の鐘　参加無料
新年 元朝護摩祈願料 大人千円
護摩木を一本授与し、お一人お一人に祈願いたします。中学生以下の子どもたちは、無料で全員新年 元朝護摩祈願をいたします。

※新年 元朝護摩祈願をご希望の方は早めの受付をお済ませください。梵鐘受付は二十五時に終了いたします。
※駐車場へは係員の誘導に従ってください。
※事前のお申込みは不要です。
※少雨決行です。また気温が下がることが予想されます。暖かくしておいでください。

実りの秋を、神様と仏様に捧げる
加藤神社様の神田 子どもたちとともに稲刈り

十月十三日、加藤神社様の神田の稲刈りに、本蔵院に縁ある子どもたち十五名とともに参加してまいりました。

神田とは、神様に供える米を作る水田のこと。以前から加藤神社の子ども会では、神に捧げる米作りを行っていました。今年から本蔵院にお声掛けをいただき、本蔵院としては六月の田植えに続いての参加です。

神職の祝詞の後、住職からも子どもたちへお話をしました。稲（いね）とは「い」のちの「ね」であること、稲刈りとは命を刈り取ることにもなることなどなど。子どもたちも真剣に聞いていました。田植えにも参加した加藤神社の子どもたちの中には、住職の顔を覚えている子もちらほら。二年前の「百螺祈願」でつながった縁はここまで広がるのか、とうれしい気持ちになりました。

稲刈りの前の神事。神職が祝詞をあげます

慣れない鎌の扱いに四苦八苦

その後、鎌を使った稲刈りに挑戦。鎌を見るのも初めてという子どもたちがほとんどで、指先を切るアクシデントも！　試行錯誤をしつつも、全員の手で無事刈り終えることができました。刈り取られ、脱穀・精米されたお米は、加藤神社様よりお裾分けをいただき、仏様にもお供えいたします。

来年の田植え・稲刈りにも引き続き参加させていただく予定です。時期が近くなりましたらこの紙面でもお知らせいたしますので、興味のあられる方はぜひお声掛けください。

大好評につき、今年も開催！

第2回忘年会においでください

檀信徒様と親睦を深めることを目的に、昨年初めて開催した忘年会。当院の英語スクールの子どもたちの英語の歌披露や、住職、檀家さん入り乱れたカラオケ大会、全員でタオルを振りながらの「涙のリクエスト」など、大いに盛り上がりました。檀信徒同士の交流もできたと大変好評をいただきまして、今年も開催することにいたしました。おいしい食事もご用意いたします。ぜひお子様、お孫様を連れてご参加ください。小学生以下の子どもにはプレゼントもありますよ。

今年も　ステージで演じていただく方を募集します♪♪

本堂に設置したステージで何かを披露してくださる方を募集します。歌や演奏はもちろん、ダンスや日舞、手品や詩吟などジャンルは問いません。参加のお申し込みの際、ぜひお知らせください！　一緒にステージを盛り上げましょう。

本蔵院・忘年会

《日時》平成 30年 12月2日(日)
13:00～15:00

《場所》本蔵院

《料金》大人1人 1,000円／中学生以下 無料

※当院でお食事をご用意いたします。準備の都合上、参加を希望される方は11月30日までに参加人数を本蔵院（TEL 096-364-4848）までお知らせください。
※駐車場が限られております。近隣のコインパーキングをご利用いただくか、公共交通機関等をご利用ください。

初めての方も大歓迎！

星祭祈願・節分豆撒きのご案内

人間が一人ひとり持っているとされる「星」。星ごとに良い年、悪い年があると考えられています。旧暦の大晦日にあたる2月3日（節分）に行われる「星祭祈願」は、それからの1年、星が良ければ一層の良いことが起こるように、あるいは星が悪ければ悪事災難を免れるよう祈願するものです。同時に節分豆撒きを行い、厄を払います。本蔵院で、1年を通して大きな催しのひとつです。初めての方もぜひお気軽に参拝ください。恵方巻きと、温かい五智汁のお接待もありますよ。そして今年の本蔵院賞は、「Nintendo Switch」！　その他の豪華賞品もご用意します。お楽しみに。

自分の「星」はぜひご自分で参拝を!

生まれたときから定められている一人ひとりの「星」。それぞれの運気は異なり、本来、星の供養はご自身で供養するものとされています。代表の方が代理でご参拝いただくことも多くありますが、来年はそれぞれが参拝し、自らの星への祈願を行ってみませんか。参加したことがない方も、迫力ある祈りの世界を楽しんでいただけるものと思います。

星祭祈願・節分豆撒き

《日時》平成 31年2月3日(日) 18:00～

《場所》本蔵院

※詳細については同送のチラシをご覧ください。